

えべつ 市議会だより

令和8年8月1日発行

No.166

発行 江別市議会
江別市高砂町6番地
電話(011)381-1051

編集 議会広報広聴委員会

印刷 江別印刷業協同組合



議場を見学する対雁小学校6年生の皆さん【関連記事10ページ】

- | | |
|-----------------------|--------|
| ◇特集 先進地調査を行いました | P 2～3 |
| ◇令和8年第2回定例会の概要 | P 4～5 |
| ◇13人が登壇 一般質問 | P 6～10 |
| ◇特集 ようこそ!! 議場へ | P10 |
| ◇出張します! 市民と議会の集いの開催結果 | P11 |
| ◇活動状況をお知らせ 委員会のページ | P12 |

次期定例会の開催予定

- 第3回定例会
9月1日～9月16日
- 各委員会
9月2日～9月7日
- 一般質問
9月9日～9月11日

※日程は予定です。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会ホームページ <https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/gikai/>

ホームページでは、議案等に対する各議員の賛否の状況や会議録(本会議・各委員会)など、議会の情報が御覧になれます。また、江別市議会フェイスブックでも、議会の最新情報を発信しておりますので、こちらもぜひ御覧ください。



江別市議会
ホームページ



江別市議会
フェイスブック

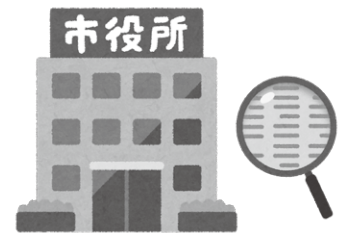
障がいのある方のための、点字とCDによる「えべつ市議会だより」もあります。
また、ホームページに音声データをアップしております。

【詳細】障がい福祉課障がい福祉係 ☎(011)381-1031

先進地調査を行いました

江別市議会では、他の自治体の先進的な取組等について、各委員会で1年おきに調査を行っています。今年は、4月21日～23日に議会広報広聴委員会、5月12日～15日に議会運営委員会がA班・B班に分かれて調査を行いました。

※二次元コードを読み取ると、各委員会の調査報告書をご覧ください。



議会広報広聴委員会



静岡県富士宮市 <調査項目> 夏休み親子議場見学会/議会だよりの作成

学校単位のみならず、個人でも参加できる議場見学会を開催し、クイズ形式を交えながら市議会の基礎知識を説明しているほか、議場、委員会室、議長室、応接室などの見学も行い、親子で楽しむことができるよう工夫がなされていました。

議会だよりの認知度を高め、若年層の議会への関心を向上させることを目的として、表紙に高校生の作品を掲載する取組や各種団体とのワークショップ形式による意見交換を行いながら、親しみやすい誌面づくりを進めていました。



静岡県裾野市 <調査項目> 市民と議員との意見交換会/シギトーク/議会だよりの作成



地域別意見交換会や分野別意見交換会のほか、地域のお祭りやイベントに出向く出張型の意見交換会「シギトーク」の内容についての説明を受けました。

気軽に参加してもらええる雰囲気をつくるため、議員はスーツを着用しないなどの工夫をされているとのことでした。

議会だよりの表紙の題字を、市民の皆さんから募集した手書きの題字にする企画は好評とのことであり、直接的な市民参加の手法として有効な取組となっていました。

埼玉県富士見市 <調査項目> 富士高生の主張 in 富士見市議会/議会だよりの作成

主権者教育の一環として、高校生が地域課題を調査・研究した後に議場で意見交換をする取組は、学校・行政・議会が連携したものとなっていました。その様子をオンライン配信により全校生徒が視聴できる環境を整え、見る議会ではなく、参加する議会へつなげる工夫がなされていました。

議会だよりの巻頭に市民団体等へのインタビュー記事を掲載するほか、子育てや地域活動などをテーマとした内容を増やし、親しみやすい誌面を作成していました。



議会運営委員会 A班



岩手県滝沢市 <調査項目> 予算決算の審査方法/議員間討議/正副議長の選出方法

議会は何をしているのか分かりにくいなどの声があり、議会の見える化や透明性の向上を図ることを目的として、議員間討議を「自由討議」と位置づけ、導入したとのことでした。実施効果としては、①政策形成力・説明力の向上、②議員個々の資質向上、③議会として具体的な意見表明が可能となったことの3点を挙げられていました。



福島県須賀川市 <調査項目> 正副議長の選出方法/予算決算の審査方法



開かれた議会を目指す取組の一環として、議長の立候補制と所信表明を導入していました。推薦者は不要とし、立候補者以外への投票も有効としていたほか、副議長は、議長を補佐する立場にあり所信表明にはなじまないとする考え方や、議長と副議長の間で所信が異なる場合も考えられるとの意見を踏まえて、対象外としていました。

福島県会津若松市 <調査項目> 正副議長の選出方法/予算決算の審査方法/議員間討議

通年議会と政策サイクルを連動させ、4つの分科会を設置しているとのこと、事前に準備会で抽出論点票を用いて課題を整理し、委員会では各分科会が3日間かけて審査を行っていました。3日目の議員間討議に向けて論点整理をしながら委員会質疑を行うことで、より専門的な審査を行うことができているとのことでした。



議会運営委員会 B班



兵庫県芦屋市 <調査項目> 正副議長の選出方法/予算決算の審査方法

正副議長の立候補制と所信表明を導入しており、改選後の初議会では議員総会において、臨時議会等では全体協議会において、立候補した議員による所信表明を行っていました。所信表明の際に立候補者に質疑ができるほか、市民の傍聴が可能であることから、透明性が高まる効果が見られるとのことでした。



兵庫県西脇市 <調査項目> 正副議長の選出方法/予算決算の審査方法/委員会のオンライン出席



議会のデジタル化に積極的に取り組み、委員会のライブ配信のほか、スマートフォンなどの個人のデジタル機器を会議へ持ち込むことも許可されました。また委員長が必要と認めた場合は、例外的な取扱いとして委員会のオンライン出席が可能であり、今後は育児や介護などの事情により直接出席が難しい委員がオンラインで出席できる体制を整備していくとのことでした。

兵庫県尼崎市 <調査項目> 予算決算の審査方法/タブレット端末運用の検証・改善

分科会方式を導入し、予算審査は全議員で、決算審査は議会選出監査委員を除く全議員で行い、約4,000事業を約20の施策に整理し進捗や成果を検証されていました。決算審査後は全会一致事項を市に提出し、市が翌年度予算に反映する形で回答する仕組みを構築することで、単なる予算執行確認にとどまらない政策形成型の議会を目指しているとのことでした。



第2回定例会は6月12日から6月29日まで18日間の会期で開かれました。

令和8年
第2回

定例会

- 議案20件(令和8年度一般会計補正予算など)
- 諮問2件
- 意見書案7件
- 陳情1件
- 報告13件

主な議案の内容についてお知らせします。



補聴器購入費用の助成制度に関する陳情を、全員一致で採択！

※詳細は〔陳情〕欄

条例

◎市税条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い、市税条例の一部を改正します。寄附金税額控除の対象となる団体の拡大や特定一般用医薬品等購入費の医療費控除の特例の延長、住宅借入金特別税額控除の適用期限について、控除の対象年度を令和25年度まで、居住年を令和12年までそれぞれ延長するほか、固定資産税における免税点の見直しなどで、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

一般議案

◎財産の取得(救急自動車の購入)

老朽化に伴い、救急自動車1台を更新します。市が所有する5台の救急自動車のうち、平成25年度に取得した1台を更新するもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

◎財産の取得(除雪トラック、除雪グレーダ、凍結防止剤散布車、ロータリ除雪車の購入)

除排雪体制強化のため、除雪トラック、除雪グレーダ、凍結防止剤散布車、ロータリ除雪車を各1台購入します。それぞれ新たに購入するもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

予算

◎一般会計補正予算(第1号)

国等の予算動向による変更等への措置のほか、緊急を要するものへの措置として、介護施設等のエアコン設置に対する補助金や部活動指導員の任用数の増加に伴う報酬等の追加などにより、665万4千円を増額し、予算総額は、618億5千665万4千円になるもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

◎介護保険特別会計補正予算(第1号)

国の制度改正に伴うシステム改

修費として、166万4千円を増額し、予算総額は、119億4千966万4千円になるもので、本議案は、全員一致により原案のとおり可決されました。

人事

◎人権擁護委員候補者の推薦

◇石川奈穂江氏の推薦を可と答申

◇一柳紳二氏の推薦を可と答申

◎教育委員会委員の任命

◇麓美絵氏の再任に同意

◎農業委員会委員の任命

◇上村健一氏、千野智博氏、中田

孝貴氏、萩原英樹氏、三角晴美

氏の任命及び浅野目貴史氏、

伊藤良明氏、植村登氏、工藤多

希子氏、砂川秀樹氏、田中浩一

氏、得能謙二氏、中島清文氏、

西純一氏、保倉浩行氏、保倉義

治氏、松下博樹氏、百瀬誠記氏、

山口利夫氏、山田保彦氏の再

任に同意

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

◇小林敏道氏の再任に同意

◎固定資産評価員の選任

◇白石陽一郎氏の選任に同意

■採択となった陳情

◎補聴器購入費用の助成制度の創設を求めることについて

全日本年金者組合江別支部
支部長 吉田一夫氏

PICKUP

陳情

報告

◎江別振興公社、スポーツ振興財団、フラワーテクニカえべつの令和7年度決算に関する書類

市が出資している公社や財団、株式会社との令和7年度決算が報告されました。

議案・議決結果・賛否の状況については、江別市議会ホームページで公開しております。



そのほか第2回定例会に提出された議案

件 名	議決結果
財産の取得(小中学校学習者用タブレットコンピュータの購入)	原案可決(全員一致)
財産の取得(無線LANアクセスポイントの購入)	原案可決(全員一致)
八幡最終処分場埋立地外造成工事請負契約の締結	原案可決(全員一致)
監査委員条例の一部改正	原案可決(全員一致)
水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部改正	原案可決(全員一致)
病院事業の設置等に関する条例の一部改正	原案可決(全員一致)
都市計画税条例の一部改正	原案可決(全員一致)
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正	原案可決(全員一致)
全てのケアラーに対する包括的な支援と法的な枠組みの整備を求める意見書	原案可決(全員一致)
住まいの安定と居住支援の抜本的な強化を求める意見書	原案可決(全員一致)
ドナーミルクの利用拡大を求める意見書	原案可決(全員一致)
住宅宿泊事業に対する監督体制の強化と住環境保全を求める意見書	原案可決(全員一致)
高額療養費制度の見直しを求める意見書	原案可決(全員一致)
義務教育費国庫負担制度の堅持など教育予算の拡充と豊かな学びを求める意見書	原案可決(全員一致)
奨学金の金利に対する負担軽減を求める意見書	原案可決(全員一致)
専決処分につき承認を求めること(市税条例の一部改正)	承認
専決処分につき承認を求めること(国民健康保険税条例の一部改正)	承認
専決処分(交通事故に係る損害賠償額の決定)	報告済
一般会計予算継続費の繰越報告	報告済
一般会計予算繰越明許費の繰越報告	報告済
水道事業会計予算の繰越報告	報告済
下水道事業会計予算の繰越報告	報告済



議員が市政をただす

一般質問

今定例会では、13人の議員が一般質問を行いました。
誌面の都合上、各議員が行った質問の中から、1人2項目を要約してお伝えいたします。
※二次元コードを読み取ると、一般質問の動画を御覧いただけます。



政和会
ふじき まさひろ
藤城 正興 議員



江別産農産物には価値がある
地域特有のコストを考慮した適正価格に

質問 全国平均で示す米のコスト指標と江別市特有の事情を考慮したコストには差があるのでは。

答弁 米のコスト指標は、全国の平均的な規模の生産者を基準として作られており、地域によって気候や地形、経営規模などが異なることから、実際のコストとは差があると認識している。

市では、多くの生産者が新たな技術の導入や機器の購入で品質向上に取り組んでいることから、良質な江別産農産物の価値に見合った価格が形成されることが望ましいと考える。

温室効果ガスの自力削減とJークレジットの活用の両立を

質問 温室効果ガスの排出量の自力削減を進めた上で、Jークレジットを活用することへの考えは。

答弁 ゼロカーボンの実現に向けては、自力で温室効果ガスの排出量を削減する取組や自身の排出量を相殺するカーボンオフセットの取組など、様々な手法があると認識している。

事業者が地域で創出されたJークレジットを活用することは、地域内循環の取組として有意義と考えているが、市の事業では、自力での温室効果ガス排出量の削減を優先して取り組みたい。



※J-Credit・企業や自治体の実施した温室効果ガス削減・吸収の取組をクレジットとして認証・取引する制度



えべつ地域創生の会
すずき まこと
鈴木 誠 議員



市立病院の病院事業債
実行性ある償還見通しを

質問 単年度収支で約7億円の償還財源が必要と考えるが、具体的にどのように対応するのか。

答弁 市立病院では、返済負担の平準化と市全体の財務基盤の安定化のため、病院事業債を活用しており、令和8年度末には約58億円の起債残高を見込んでいる。
また、これまで、積極的な救急患者の受入れや地域医療連携を強化したほか、診療体制の充実に努め、経営の安定化を着実に進めてきた。

今後、医師の確保を進めながら病床稼働率や診療単価の向上を図り、償還資金を確保していきたい。

上江別浄水場の施設整備の方向性
次期上下水道ビジョンで再検討を

質問 令和33年度を目途に上江別浄水場の施設整備が必要とされているが、給水量が減少している状況も踏まえて再検討すべきでは。

答弁 上江別浄水場は、運転開始から50年の間、計画的な維持管理の下で延命化を図ってきた。

上下水道ビジョンでは、令和33年度を目途に施設整備が必要としたが、使用水量の減少に依じた施設規模の適正化や、広域化による水量確保も検討する必要があるため、令和11年度からの次期ビジョンで、具体的な方向性を検討していきたい。





日本共産党議員団
高橋 典子 議員
たかはし のりこ



郷土資料館とセラミックアートセンター 入館料等の減免制度の改善を

質問 減免対象となる障がいの種別を統一するとともに、低所得者や小中学生の料金の見直しを。

答弁 郷土資料館とセラミックアートセンターの入館料等を無料にする規定は、対象者が統一されていない状況であることから、まずは、分かりやすく伝わるように市ホームページ等の表記を整理するほか、条例や規則の見直しに向けて検討していきたい。

市教委では、より多くの方に、郷土の歴史や文化・芸術に触れてもらう機会が増えるよう、料金体系や減免の在り方を研究していきたい。

自転車の交通ルール さらなる周知が必要では

質問 道路交通法が改正され、関心が高まっている今こそ、自転車の交通ルールを幅広く周知しては。

答弁 市では、いわゆる青切符について、市広報誌等での周知のほか、市独自のチラシを作成して中学生に配付し、公共施設等へも配架した。

自転車の交通ルールを遵守し、交通事故のない社会を目指すことは重要であることから、引き続き周知するほか、江別自転車商組合に協力を依頼するなど広く啓発していきたい。



このほか、家庭系ごみについて質問がありました。



公明党
奥野 妙子 議員
おくの たみこ



重点支援地方交付金 自治体が地域の実情に応じた活用を

質問 市民生活を支える医療機関や介護施設、障がい福祉サービス事業所等に対する支援の必要性は。

答弁 公定価格で運営している事業所等は、物価高騰等による経費の増加を価格転嫁する自由度が少ないため、エネルギー価格の高騰による影響を比較的大きく受けていると認識している。

これらの事業所等は、市民生活を支える重要な社会基盤であることから、重点支援地方交付金の活用についても道の支援内容を注視しながら、総合的に検討した上で、事業の選定を進めたい。

がん治療を受けている方への具体的な 支援策についての検討を

質問 国のアピアランスケア体制の構築に向けた取組が着実に進む中、助成制度の導入をどう考えるか。

答弁 がん患者の5年生存率が向上し、治療と生活を両立させながら社会復帰する方が増えたことにより、治療に起因する外見の変化による不安を感じる方も増えていることから、こうした方への支援としてアピアランスケアは重要であると認識している。

助成制度の導入については、道内自治体のアピアランスケア助成の実施状況も踏まえながら検討していきたい。



※アピアランスケア・・・がんやその治療に伴う外見の変化による苦痛を和らげ支援するケア



民主・市民の会
吉田 美幸 議員
よしだ みゆき



働きながら子育てをする職員を職場全 体で支え合う体制の整備を

質問 第4期江別市特定事業主行動計画では、働きやすい職場環境づくりをどう進めるか。

答弁 本計画では、働きながら子育てをする職員を職場全体で支え合い、女性が個性と能力を十分に発揮できる環境の整備などを掲げている。

新たな計画をより実効性のあるものにするには、計画の趣旨を組織全体に浸透させ、職員が互いに価値観や働き方を理解し、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境が必要であることから、それぞれの働き方が尊重される働きやすい職場づくりに努めたい。

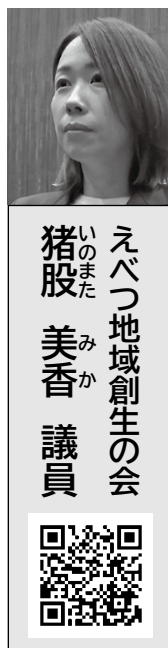
学校給食の業務委託に当たって重要と なる要求水準書の具体的内容は

質問 要求水準書に示している市の目標、求めるサービスの品質や範囲とは何を指しているのか。

答弁 要求水準書は、事業者を選定する上で、民間事業者からの事業提案のための前提条件のほか、サービスの達成基準や評価基準等を示すものであることから、民間事業者から質の高い提案を引き出すために事業の範囲や水準を明確に示すことが重要である。

項目については、市が力を入れている地場産野菜の使用率や食育に関する取組等について、より具体的な数値等を盛り込む必要があると考えている。





えべつ地域創生の会
いのまた 猪股 美香 議員



次期社会教育総合計画 伴走型支援を主軸に据えるべき

質問 次期社会教育総合計画では、親としての責任、健全な家庭など特定の家庭像を前提とせず、あらゆる家庭が地域で支え合う伴走型支援を主軸にしては。

答弁 家庭環境の多様化に伴い、子育てに対する不安や孤立を感じるなどの課題を抱える家庭が増加している状況を踏まえ、現行計画では、地域全体で子どもを守り育てる体制づくりを目指すこととしている。

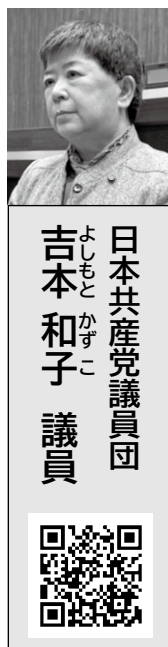
次期計画の策定に当たっては、現行計画の考えを基調としつつ、より実効性の高い計画となるよう、社会情勢に沿った記載内容を検討していきたい。

次期社会教育総合計画 学校外での学びの重要性を明確に

質問 不登校児童生徒の学びの場を確保する上で、社会教育が担う役割は大きいため、次期社会教育総合計画にその重要性を明確に位置づけるべきでは。

答弁 不登校児童生徒だけでなく、障がいなど様々な課題を抱える児童生徒を含め、全ての子どもたちにとって、学校教育の枠にとどまらずに社会全体で学びの場を確保することは重要である。

このように、社会教育が果たす役割は大きいことを踏まえて、次期計画の策定に取り組んでいきたい。



日本共産党議員団
よしもと かずこ 吉本 和子 議員



ふれあい入浴デー事業の積極的な周知を

質問 多くの高齢者が利用できるよう、ふれあい入浴デー事業を積極的に周知しては。

答弁 ふれあい入浴デーは、65歳以上の方が毎月第4月曜日に市内3か所の銭湯を無料で利用できる事業であり、市広報誌、市ホームページ、高齢者向け暮らしの情報誌に実施日等を掲載しているほか、窓口での相談の際にも周知している。また、各銭湯でも、自主的にポスターを掲示するなどして実施日を周知していることから、引き続き、銭湯経営者や関係機関と連携しながら、事業の実施日等を周知していきたい。

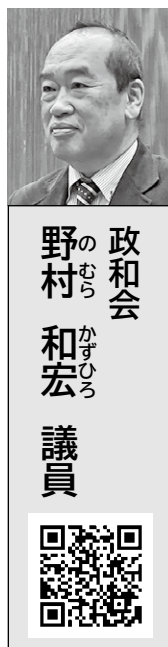
兵村防風林が及ぼす地域への影響 道に情報提供するなど解決を

質問 兵村防風林が周辺地域に落ち葉、松やに、電波障害などの悪影響を及ぼしているが、低木を植栽することで改善が期待できるのでは。

答弁 兵村防風林は、森林法に基づく防風保安林であり、維持管理の範囲を超える伐採や植栽等は道の管轄となっており、平成30年の台風被害の際に、市は道と協議の上、植栽樹種として低木広葉樹を選定した。

防風保安林としての重要性和地域の生活環境を両立させるため、引き続き、再整備について道と協議調整していきたい。

このほか、障がい者雇用の推進について質問がありました。



政和会
のむら かずひろ 野村 和宏 議員



情報セキュリティ対策とIT機器利用 時のリスク管理は

質問 特定の外国製IT機器を利用する際に、どのようなセキュリティ対策とリスク管理をしているか。

答弁 市では、特定の機器に限らず、江別市情報セキュリティ対策基準に基づき、安全性や信頼性が高いIT機器を調達するよう努めている。

また、全国の行政機関のみが接続できる総合行政ネットワークを利用し、強固なアクセス制限の下で情報漏えいや不正送信を防御する仕組みとしているほか、パソコン端末もUSBメモリの利用やデータの持ち出しができない設定にして、対策を講じている。

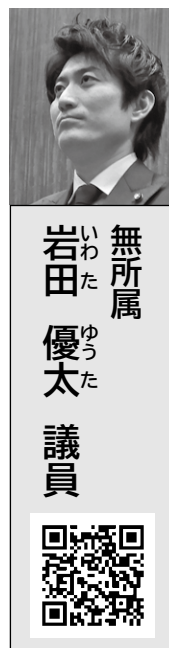
認知症カフェに財政的支援を

質問 認知症カフェを重要な社会資源と位置づけているのであれば、財政的支援を検討すべきでは。

答弁 認知症カフェは、認知症の方と家族の孤立防止や社会参加に大きな役割を果たしており、重要な社会資源である。市ではこれまで、認知症カフェ登録制度を通して、交流会の開催など活動継続に対する支援や周知活動への協力を続けてきた。

認知症カフェに対する財政的支援については、他自治体の状況も注視しながら、先進事例を調査・研究していきたい。





火葬許可証の交付は可能な限り迅速かつ円滑に

質問 死亡届を提出してから火葬許可証が交付されるまでの一般的な流れと所要時間の目安は。

答弁 火葬許可証は、戸籍住民課や大麻出張所の窓口で死亡届を受理した際に交付しており、開庁時間外や休日には、本庁舎当直室で対応している。

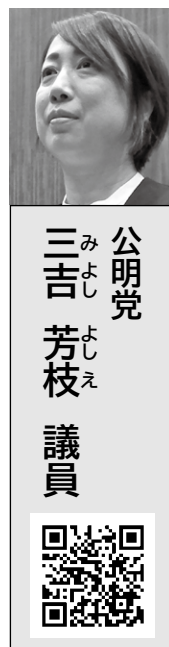
所要時間は、死亡診断書または死体検案書に不備がないことのほか、死亡者や届出人の住所や本籍地、関係性などを確認した上で、おおよそ1時間から1時間半で作成して交付しているが、他市町村への照会が必要な場合などは、さらに時間を要することもある。

新庁舎にはお悔やみ窓口の設置を

質問 新庁舎の開庁に合わせて、死亡に関する手続を総括したお悔やみ窓口の設置を検討しているか。

答弁 新庁舎では、関係窓口を1つのフロアで完結させるワンフロアサービスを基本としており、お悔やみ窓口を含むライフイベントに関する手続では、ワンストップサービスの導入を検討している。

窓口を所管する部署が連携し、市民にとってより利便性が高く、職員の業務効率が向上するように、さらなる検討を重ねていきたい。



不登校児童生徒への支援の一環として給食センターの活用を

質問 多くの児童生徒に親しまれている給食の強みを生かし、給食センターを活用した居場所づくりや交流機会の創出を検討しては。

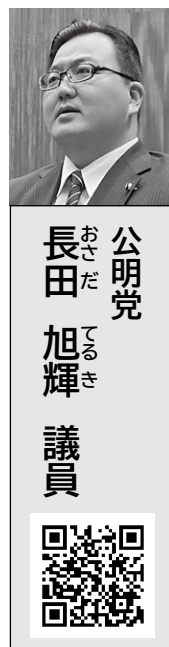
答弁 当市の給食は、地場産食材を取り入れて栄養バランスが良いと好評であり、給食の提供が不登校児童生徒の居場所づくり等の一つになり得ると考えている。不登校児童生徒に、定期的に給食を提供することは困難であるが、年に数回程度、試食会と同様の形式であれば提供できると考えており、他市の先進事例について、調査・研究していきたい。

更年期を抱えながら働く女性への支援は急務、男性更年期についても理解を

質問 更年期に関する正しい知識や相談窓口等について普及啓発に取り組む考えは。

答弁 更年期による不調は、年齢を重ねる中で誰もが経験し得る変化であることから、年齢や疲れのせいと捉えられがちで、本人の自覚や周囲の理解が得られにくい特徴があるため、正しい知識の普及が必要であると認識している。

更年期に関する情報提供は、健康相談等の中で行ってきたが、今後は、知識を広く普及啓発するための効果的手法や媒体について検討していきたい。



介護保険の認定審査を原則30日以内へ

質問 当市の認定期間は全国・全道平均よりは短いですが、原則である30日を上回っているため、原則に基づく認定期間を目標とする考えはあるか。

答弁 被保険者が安心して介護サービスを利用するために、速やかに認定することは重要であることから、市では、これまでにタブレット端末の活用や認定審査会のオンライン化により認定期間の短縮に努めてきた。今後は、国の介護システムの一元化が予定されていることから、これらを活用したICT化等によって30日以内の認定に取り組んでいきたい。

市内の介護施設や介護事業所と連携した施設見学会を

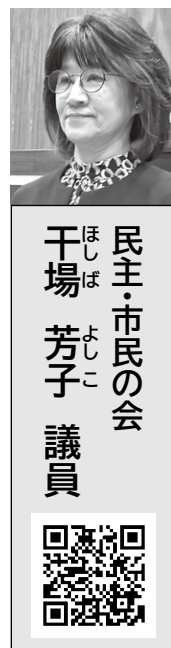
質問 札幌市手稲区の事例のように、複数の施設やサービスを比較しながら見学できる機会を設けては。

答弁 市では、介護施設の情報を入手する手段として、介護事業所の情報を掲載したガイドブックや高齢者向けの情報誌を作成して窓口で配布するほか、グループホーム等の空室状況をホームページに掲載している。

事例として挙げられた施設見学会は、介護事業所等が参加する団体が主催しており、市が特定の施設への見学機会を設けることは、公平性の観点から難しいと考えている。

このほか、ケアラー支援について質問がありました。





民主・市民の会
ほしほ よしこ
干場 芳子 議員



RSウイルスワクチン 副反応についても十分な情報提供を

質問 新たに定期接種となるRSウイルスワクチンに関して、有効性だけではなく副反応についても十分な情報提供が必要不可欠では。

答弁 市は、定期接種の対象となる妊娠中の方に、RSウイルス感染時のリスク、母子免疫ワクチンの効果と副反応、接種時期などについて知らせているほか、国が作成したリーフレットや、市が作成した分かりやすさを重視した説明文なども用いて情報提供に努めている。対象者に正確な情報を提供することは重要であるため、引き続き分かりやすく情報提供していきたい。

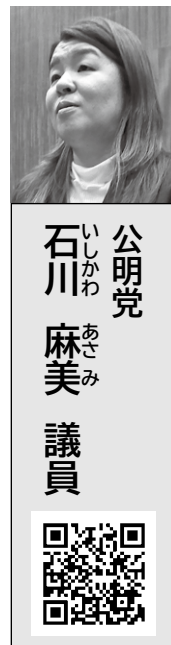
実効性ある子どもの権利条例に向けて子どもの意見を反映させる機関の設置を

質問 (仮称)子どもの権利条例を理念だけで終わらせないために、当事者である子どもの意見を反映させる独立した検証機関の設置が必要では。

答弁 市の条例案には、子ども・子育て支援法に基づき、子どもに関する施策の実施状況を調査・審議する役割を担う子ども・子育て会議の中で、施策を検証する仕組みを設けており、施策の状況を同会議に報告して意見を求め、市が施策に反映させることとしている。

引き続き、施策への子どもの関わりについては、調査・研究していきたい。

このほか、子どもへの暴力の防止について生み出しつつある問題について質問がありました。



公明党
いしかわ あさみ
石川 麻美 議員



効果的な指導体制の構築が急務 生命(いのち)の安全教育の推進を

質問 授業時間の確保などの課題がある中で、子どもたちの安全と健康を守るための教育をどのように充実させていくのか。

答弁 生命(いのち)の安全教育には、包括的性教育と共通の目的があると認識している。

市教委では今年度、教員が主体となつて年間指導計画などを作成することとしており、これにより授業時間の確保や指導体制の充実につながると考えていることから、引き続き、子どもたちの安全と健康を守る教育の充実に向けて取り組んでいきたい。

市立病院に安心して通院できる交通環境の整備を

質問 市民の通院における交通環境の課題をどのように認識しているか。

答弁 市立病院では、駐車場の整備やバス会社への協力などによって交通環境の確保に努めてきたが、深刻な乗務員不足等により、当院へのバスの本数も減少傾向にある中、地域の医療機関との連携による役割分担は、患者の移動負担の軽減になっているものと認識している。

引き続き、市の公共交通政策の方向性を踏まえながら、公立病院としてできることを慎重に検討していきたい。



ようこそ!! 議場へ

令和8年6月30日、対雁小学校6年生(1組～3組)の皆さんが議場見学に来てくれました。議会の役割や仕組みを説明した後、「よりよい対雁小学校にするには?」について考えてもらおうと、「学校にエレベーターをつけてほしい」「図書室の本を増やしてほしい」「夏休みの宿題をなくしてほしい」など、たくさんの意見が出されました。議場見学の申込みは議会事務局(011-381-1051)で受け付けています。ぜひお待ちしております。

小中学生向けのリーフレット



最後は副議長と一緒に記念撮影



実際に議員席に座りました

出張します! 市民と議会の集い 4月~7月までの開催報告

開催日: 4月9日(木)
会場: 野幌公民館
団体名: 江別ホテルの会
参加人数: 4名
参加議員人数: 3名



開催日: 4月26日(日)
会場: 野幌公民館
団体名: 高齢者の交通費
助成を求める江別の会
参加人数: 6名
参加議員人数: 3名

開催日: 5月19日(火)
会場: 大麻体育館
団体名: 江別ねこ部
参加人数: 8名
参加議員人数: 3名



開催日: 5月20日(水)
会場: 総合社会福祉センター
団体名: 要約筆記サークル
ぷらすONE
参加人数: 10名
参加議員人数: 3名



皆様、ご参加ありがとうございました。
これからもお申込みお待ちしております。



開催報告HP



議会運営委員会・議会改革検討小委員会 議会改革を進めます！

傍聴規則を改正し、7月以降に開催される委員会から傍聴希望者の随時入室を可能とすることや傍聴証を交付することになりました。

また、政策形成サイクルは検討期間を原則2年とするが、委員会の判断により1年とすることも可能とし、市長等の回答は不要とする一方、必要に応じて各委員会が提言内容について所管部局へ報告を求めることを確認しました。

そのほか、議会改革検討小委員会では、ICT化推進基本計画の進捗状況の確認等の協議を引き続き進めることとなりました。

総務文教常任委員会

旧江別小学校跡地の利活用は？

旧江別小学校跡地の利活用について、1件の事業提案がありましたが、3月に予定していたプレゼンテーション審査へ移行できる見通しが立っていないことから、公募型プロポーザルを中止するとの報告を受けました。今後、募集要項の見直しもあり得るとの説明がありました。

また、学校給食について、中学生への給食調理に民設民営方式の導入が検討されていることから、民間委託を実施している留萌市の学校給食センターを調査しました。

民生福祉常任委員会

地域医療と福祉の充実へ！

付託された陳情第4号の補聴器購入費用の助成制度の創設を求めることについての審査

を行いました。

陳情者からの意見陳述と関係部局からの説明を受け、質疑を行った後、結審では全員一致で採択すべきものと決しました。

また、市立病院から、令和8年3月17日付で地域周産期母子医療センターの認定や、今年度からの形成外科開設についての報告があり、地域医療機関との連携による高度な周産期医療の提供や診療機能の充実に関する説明を受けました。

生活産業常任委員会

インフラ維持に向けた取組を確認！

下水道施設課から下水道管路の全国特別重点調査の結果について報告を受けました。調査の結果、道路陥没につながるような異常はなく、対策や改築を必要とする緊急度の高い管路は確認されず、今後も計画的に点検・調査を実施していくとのことでした。

また、市民と議会の集いで寄せられた御意見を踏まえ、合併処理浄化槽に関する取組と課題について廃棄物対策課から説明を受けました。

今後も生活を支える重要なインフラの維持管理と地域の実情に応じた制度運用について注視してまいります。

議会広報広聴委員会

先進地調査の結果を生かした検討を

出張します！市民と議会の集いの在り方等について、知見を深めることを目的として、静岡県富士宮市、裾野市及び埼玉県富士見市の3市へ訪問し、先進地調査を実施しました。

学び得た多くのことから、当市で実施できそうなことを見極めて、検討を進めていく予定です。

また、昨年度から実施している、出張します！市民と議会の集いは、これまでに5つの団体と意見交換をさせていただきました。

今後も引き続き精力的に活動してまいりますので、お申込みをお待ちしております。